

第 5 回 泉中学校再編検討委員会 会議録

日時	平成28年7月28日(木) 19時00分～20時55分
場所	泉市民館
出席者	委員(24名) 山内敏久、山内六男、鈴木保博、伊藤公夫、伊藤正幸、渡辺直樹、高平哲夫、山田友行、檀林清和、太田完一、鈴木福治、内山正弘、樅山節生、川合正泰、千賀修治郎、千賀幸子、木村勇人、花井 充、千賀洋一、清水千里、千賀暁子、伊藤久恵、山上高弘、赤崎晴彦(代理出席) 事務局(8名) 花井教育長、大根教育部長、三竹教育総務課長、鈴木学校教育課長、大羽企画部企画課長、小久保渥美支所地域課長、伊藤教育総務課課長補佐兼係長、宮嶋教育総務課主任
欠席者	中村八重美委員
傍聴者	1名
事務局	開会
委員長	皆さん、こんばんは。暑い日が続いております。大変お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。第5回泉中学校再編検討委員会を開催いたします。 教育委員会から文書で事前に方針案が通知されたと思います。方針案について再編検討委員会で協議して、取りまとめていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。 続きまして、大根教育部長からあいさつをお願いします。
教育部長	改めまして、皆さん、こんばんは。 大変暑い中、またお仕事でお疲れのところを、皆さんお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。教育長は、後ほど御挨拶を申し上げたいとのことでございますので、事務局を代表して、私からあいさつをさせていただきます。 先ほど、委員長からもございましたけれども、前回5月24日の再編検討委員会におきまして、今年度のスケジュールを出させていただいております。7月に教育委員会としての案を提示し、御協議いただきたいとのことで、6月には、福江中学校、あるいは赤羽根中学校の学校見学会を開催したところ、多くの方に御参加をいただきまして、この場をおかりして御礼を申し上げたいと思っております。 また、その中でのアンケートも参考にさせていただきながら、今回、教育委員会としての案を提示させていただくものでございます。 本日は、教育委員会の方針案を示させていただきましたので、これに対して御意見等をいただきながら、コンセンサスが得られればと考えております。 今後の予定につきましては、8月下旬には方針案を校区の皆さんに提示させていただきながら、そこでの御意見を踏まえて、9月の再編検討委員会で最終案が固まればと思っております。再編検討委員会としての方向づけがなされれば、9月の教育委員会へかけて、最終的に決定してまいりたいと考えておりますので、どうか忌憚のない

	御意見等をいただければ幸いに存じます。 また、部活動等については、統合先、統合時期が決定後に詰めていければと考えておりますので、よろしくようお願い申し上げまして、冒頭のあいさつといたします。
委員長	ありがとうございました。それでは、協議事項 1 泉中学校の統合先及び統合時期の方針案について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 1、2、3、4 により説明) ・伊良湖岬中学校・泉中学校の統合先及び統合時期の方針案について ・泉中学校統合についてのアンケート ・伊良湖岬中学校統合についてのアンケート ・福江中学校及び赤羽根中学校の学校見学会 (まとめ)
委員長	ありがとうございました。 事務局からの説明が終わりました。御意見、御質問がございましたらお願いします。
委員	事務局から泉中学校の統合時期が平成33年度という提案がありました。これは、泉中学校と赤羽根中学校の中学3年生の人数が一緒ぐらいということで、この時期とのことでした。もし泉中学校の統合時期が平成31年度の場合、中学3年生になる今の小6は何クラスになりますか。
事務局	統合時期が平成31年度でしたら、2クラスです。
委員	どちらの統合時期でも人数としては、あんまり大差はないと思う。
事務局	1クラスは40人です。平成33年度ですと、中学3年生が41人と47人で同じぐらいになっています。また、平成31年度ですと、周知期間や準備期間を考慮し、平成33年度で提案しています。
委員長	ほかにございませんか。
委員	郵送で送られてきた資料を見て、当初から伊良湖岬中学校も泉中学校も同じ時期に統合するようなことが、しきりに今まで言われていたのに、伊良湖岬中学校の統合時期が平成31年度、泉中学校が平成33年度で時期が違っていました。 私は、スクールバスで子どもたちの送迎の100%を賄ってくれるとは思っておりませんから、泉地域から赤羽根中学校まで行く間に、歩道があるところも少なく、夕方になると真っ暗闇で、大型車も通るし、人家の切れている道路ですから、通学路の整備などに力を入れてくれるかと思っていたんですけれども、そういうわけでもない。先ほどの説明を聞きますと、人数的に最高学年が同じに近いということを言われていますが、それほど人数的には違わないと思う。
事務局	同じ時期にというのは、やはり最初、同じ学校へ行く場合にはどの思いが強かったと思います。 あと、通学体制はスクールバスの運行を考えています。それから、県道の通学路の整備につきましては、早急にと言っ、なかなかすぐにできるものではございません。なぜ、赤羽根地域の歩道の整備状況が、現在の状態になっているのかもわかりませんが、こちらとしても、土木関係の部署へ要望していきます。
委員	スクールバスで全部賄えれば本当によいんですけども、野田中学校の状況を見

	ていても、そればかりというわけにもいかず、「結局親が送っていくではないか」という声を聞いています。そうなると、子供の負担でもあり、結局、親の負担になってしまう。
事務局	部活動の練習試合などで遠くに出かける場合など、御自分で行かれることもあるかと思いますが、授業日、学校のやっている日にはスクールバスを運行予定です。
委員	夏休みや、夏休みの部活動がある日の運行はどうですか。
事務局	夏休みの全校出校日や、部活動のある日について、時間を調整しながら、スクールバスの運行を考えていきます。
委員	今、野田地域は田原中学校の通学にあたって、夏休み期間中で部活があると思う。その場合、野田中は定期バスがありますので、対応できると思うんですが、泉地域が赤羽根中学校へ行くと路線バスはありません。したがって、今、統合時期を平成33年度と教育委員会が方針案を示したんですが、いまだ土木、その他県のほうへ教育委員会としては歩道整備等の要望に行っていない。これは決定するに際しても、やはり、5年後はある程度、簡易にしろ、自転車道、歩道、街路灯等、5年もあるんだったら完成しますよというようなアクセスをとって、意見を出すべきだと思います。
事務局	おっしゃるとおりかもしれませんけれども、まだ、今月になって決めたものでございますので、土木課のほうでそういったようなことをやる、やらないというところまでの話はできておりません。これから話をしていきますけれども、用地も絡んでおりまして、道路整備が進むように粘り強く話をしていくつもりでおります。
委員	用地買収と言うんですけれども、この間、設楽方面へ行ったときには、道路にある法面へ鉄筋を打ち込んで自転車道、歩道の設置工事をやっていました。こういうふうにしてやれば、1.5メートルなり2メートルを法面で確保される。そうすれば簡単にできるのではないかなと。ですから、そういうことも交渉していただきたいと思います。用地買収なんて、5年、10年先だなんて言っていたら、本当に冬休み部活があるとすぐ暗くなる。非常に人家もないということで、治安上問題があると思います。その点は配慮していただきたいと思います。
事務局	御意見ありがとうございます。
委員長	ほかにございませんか。
委員	泉中学校にブラスバンド部はありますか。
泉中校長	泉中学校にはありません。
委員	なぜ聞くかという、小学校の子供がブラスバンドをやりたいので、再編するなら早くブラスバンド部がある赤羽根中学校へ行きたいという意見を聞いております。伊良湖岬中学校の統合時期は平成31年度ということで、多分PTAから統合時期の情報が子供たちにも入ったと思うんですが、泉中学校が平成33年度と2年おくれるということで、「できたら早くしてほしい」という意見を聞いております。 資料では、今の4年生の人数が赤羽根中と泉中が同じぐらいだから平成33年度に統合という説明でしたが、例えば、平成31年度の場合でも、中学1年生で一緒になれば、その学年は同じ人数で入れます。人数が同じぐらいということで、その理由では、こ

	<p>の統合時期に私は賛成できません。</p> <p>あと、先ほどから伊良湖岬中学校と泉中学校が同じ学校の場合には、同じ時期にということでしたが、そうでなくても、中には、やはり反対する人もおりますけれども、「せっかくなら伊良湖岬中学校と一緒にするのなら、泉も同じ時期に統合してほしい」という意見が私の耳にも多いです。小学校でブラスをやっている、泉中学校ではない。「早くブラスバンド部があるところへ行きたい」と、子供が言っていました。子供と約束をしたので、ここで意見を言わせてもらいました。</p>
委員	<p>今の意見に類する感じではありますが、統合先が赤羽根中学校と決まっているのであれば、早目にという意見もあります。伊良湖岬中学校は伊良湖岬地域の都合で1年おくらせて平成31年度にするなら、泉は当初の予定どおり平成30年度に向かってやっていけばいいのではないかと思います。それでも今の中1の人数差があるというのなら、1年おくらせて平成31年度でも、別に伊良湖岬中学校の統合時期に合わせるわけではなくて、最高学年の人数が合わないから1年おくらせて、たまたま伊良湖岬中学校の統合と一緒にという形にしてもいい。そんなに準備期間が足りないものなのですか。当初の考えより、3年おくらせるのは、何でそんなに時間がかかってしまうのかなと疑問に思います。</p>
事務局	<p>統合を前提に協議をしていくとの方向は決まっておりました。</p>
委員	<p>泉中学校の統合時期も、平成30年度というスタートでしたよね。</p>
事務局	<p>伊良湖岬中学校と同じ時期にということでした。</p> <p>同じ中学校に統合の場合には、同じ時期にという意見が強かったと思います。</p>
委員	<p>それなら、平成30年度の統合でも別にいい。</p>
事務局	<p>あとやはり、来年、再来年すぐにというのでは、ちょっと早いかと思います。</p>
委員	<p>なぜ中学3年生の人数を合わせるのか。</p>
教育長	<p>教育委員会側としての問題点を入れさせてもらいながら、平成33年度という方針案を出させていただきました。理由は先ほど説明したほかに、平成31年度、泉中と伊良湖岬中が同時に統合すると、それは保護者、子供のほうには余り関係ないようなところですが、先生の対応が教育委員会として非常に難しい部分があります。これについて、まだシミュレーションもできていないので、簡単に言うと、6つのうちの2つの中学校が同時になくなり、4つの中学校へ先生を配置するとなると大変難しい。伊良湖岬と泉の先生はどこかへ行かざるを得ない。どっちかという小学校へ行ってもらわないといけない。統合した場合には、伊良湖岬地域の小学校では、3小学校が1つになりました。でもクラスはふえません。赤羽根中の場合、資料の泉中の小6の32人が、41人の赤羽根中学校に行きますが、3クラスが合併して2クラスになる。簡単に言うと、赤羽根中学校の先生はそのままいけば、泉中学校が赤羽根中学校と一緒にしても3年生は2クラスで、変わらないので、そうしたところの先生の配置など、そこら辺をちょっと加味してもらえるとありがたいという部分もございます。</p> <p>それから中学校3年生は非常にナーバスな学年で、入試のこと、部活のこともあります。野田中の統合時、そういう心配の声が出ておりました。田原中の全校約600人</p>

	<p>のところに野田中の約70人、そのうち3年生は24人です。24人が6クラスの中に4人ずつ分かれています。できるだけ野田の子が肩身の狭い思いをしないような形ができないかなということも田原中学校と相談してまいりました。</p> <p>あと、野田の保護者は、3年生に限っては部活も入試もあるので、1クラス野田のクラスをつくってほしい。そうすれば子供たちは、残った1年間を安心してやれるという方もみえました。それは野田が田原へ行く意味がどうなのかなということもあって、3年生にとってはナーバスな部分があると思っております。</p> <p>そんなぐあいでも、この人数を見たときに、同じ人数のいる3年生が泉から赤羽根に行ったときに、同じ人数ぐらいで肩身が狭くないような感じでやれたらなど。41人と47人で3クラスできます。そんなときがいいタイミングではないかなと。そうすれば伊良湖岬中学校の統合の様子を見ながら準備もできると考えたわけですが。</p> <p>もし、それでも早く行きたいというのであれば、先ほど伊良湖岬中学校が平成31年度でしたが、泉中学校は平成30年度にやりたいという泉地域の意思が固まれば、そちらのほうが私は同時にやるよりはいいかなと思います。平成31年度に同時に2つの中学校をなくすのは、教育事務所などと、いろいろ連携をとる中で、非常に教育委員会は負担がかかって、その調整等、皆さんにちょっとしゃべりにくい事情もあり、1年ずつのほうが準備がしやすいとの状況もありながら、こうやって提案して皆さんの御意見を伺っていききたいなということです。どうしても平成31年度と一緒にやってくれということであれば、その方向で考えていきたいし、平成30年度にやると固まれば、そういうふうに思いますが、今こうやってみると平成33年度が一番緩やかにおさまりよくいく年ではないかなと考えたわけですが、これは一応、教育委員会の方針案ですので、この方針について、また御意見をいただければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。教育長さんの説明がありましたので、御意見を申し上げます。今の感じでは、最初の平成30年度の予定から平成33年度でもいいかなという感じがしますので、今ここで時期を決めるとか、そういうあれではないですが、大体の方向づけをしたい。先ほど、教育長が言われたように、校区全体の説明会を一回開いて、そこで校区の皆さんの意見を聞いて、その後、方針を出していきたいということです。いろいろ意見もあると思います。どうでしょうか。</p>
教育長	<p>もしよかったら、統合年度も含めて、お一人ずつ気持ちをお伺いしていったらどうかなあとと思いますが、どうですか。</p>
委員	<p>自治会関係者としては、「保護者の意見を尊重する」ということで方向をある程度出しているの、保護者の方の意見をお願いしたい。</p>
委員長	<p>保育園の関係の方、どうでしょうか。</p>
委員	<p>私は早い時期の統合を望んでおります。何で平成33年度だろうと正直思いました。驚きです。どこから出てきたのかと、多分皆さんが思っていると思います。</p>
委員	<p>今の説明について、各自何年度がいい、平成30年度、31年度など何年ぐらいがいいとか、意見をお願いできたらと思います。</p>
委員長	<p>多分、統合時期を平成33年とする方針の説明を事務局と教育長さんがされたんです</p>

	けれども、それではまだ多分、理解できないという感じだと思います。何で33年なのか。4つ、5つぐらい決めた根拠があると思うんです。それをうまく説明してもらえると納得いくかなと思います。
委員	納得したほうがいいんでしょうか。平成33年度で納得してくださいということでしょうか。
委員長	そうではないですね。
教育長	<p>統合時期の数字を言ってもらいたいかなと思います。</p> <p>平成33年度という時期は、驚かすつもりは全くなくて、どれだけの方がわかっていたかかわかりませんが、私のほうもずっと学校をやっている流れの中ではこちら辺がということで提示しています。</p> <p>中学校1年生は入学と同時です。一番ポイントになるのは、中学3年生です。さっき言った、野田中学校が田原中学校に行くについては、「野田だけの学級をつかってほしい」、「部活もこうしてほしい」というたくさんの要望が出ました。要望を全て受け入れることが可能ならばいいですが、野田地域だけの要望を聞くことは、受入先の田原中学校でも600人の子供たちがいますのでなかなか難しい。今回も、赤羽根中学校にどうやってすんなり受けてもらうかと。赤羽根地域としてはできるだけ早く来てほしいというような気持ちです。</p>
委員	そうなんですね。じゃあ、早いほうがいいです。
教育長	早いほうでといいますと、教育委員会としては、平成31年度に一気に統合というのは何とか回避できたらなと思いますが、皆さんが絶対平成31年度と言えば、それに向けてやるのかなと思っています。
委員	伊良湖岬中学校は平成31年で行けるわけですね。そちら側は準備できるということですね。
教育長	はい。伊良湖岬中学校は、伊良湖岬小学校を建設する関係があって、急がなければならないという理由があります。約束をしているものだから、伊良湖の子たちもできるだけ早く動かしてやりたいなど。一番早いのは、先ほどの小学校6年生で統合、中学3年生で統合と最高学年で2度の統合ではかわいそうだということです。
委員	道路さえちゃんとしてくれればいい。
教育長	道路は、急にはなかなかね。
事務局	それは皆さんがそれとと言えば、平成30年でも……。
委員	ただ、その前に、赤羽根中学校に行くという前提で話をしているけれども、アンケートでは、「福江中学校に行きたい」という人もいる。その人には何と言って納得させるのか。自分自身は赤羽根に行きたいと思っているが、「福江中学校に行きたい」という案もあるので、その人たちには何と説明したらいいのか。「泉中学校の統合先は、もう赤羽根中学校だよ」との話は、どのようにして、その人たちを納得させて赤羽根中学校にさせるという案も欲しい気がする。
委員	校区全体の説明会を実施しますので、そこへ出席していただいて、福江中学校へ行きたいという意見を述べてもらえれば、赤羽根中学校という意見につくのかどうか、

	その人の判断でということです。私個人の意見としては、やはり同じ学校へということが、子供たちにはいいのではないかなと思います。
委員	自分も本当は赤羽根中学校を押ししたいけれども、ただ、やはり一部反対の人もいる。前に話を聞いていると、9月ぐらいいは泉で決めて、10月ぐらいいに新聞発表と聞いていたので、そうすると最終的にはどのようにして統合先を決定するんですか。
委員	校区の説明会をやって、最終的には多数決で決めるしかない。1人、2人反対だから、そこだけ福江中学校に子供を入れるというわけにはいかないでしょう。
事務局	まず、赤羽根中学校というのは、以前の保護者意見交換会のおかげから意見が多かったということ。また、今回のアンケートでも、そういう結果が出ており、この検討委員会の中で話をさせていただいても、「赤羽根中学校へ行く」というのは全体とすると、そちらの方向なのかなというところです。きょうのこういう協議と、また8月の校区説明会で、そこで多数決というわけではないですけども、おおむねの理解が得られれば、次の再編検討委員会を9月に開いて、統合先としては、この検討委員会としての方向性として決めていただければと考えておりますけれども。
委員	今年度、統合について保育園側でもアンケートをさせていただきました。圧倒的な人数で赤羽根中学校でした。
事務局	ありがとうございます。アンケート回答数が、全世帯59世帯のうち39世帯から回答をいただきました。赤羽根中学校35、福江中学校4とのこと。 「早く決めていただきたい」、「経営方針で赤羽根中学校」、「海拔が高い」などいろいろと意見が書いてございました。
委員長	ありがとうございました。
委員	時期については、どの親も思うことで、やはり自分の子が受験に当たる年というのは嫌だと思う。実際に自分もそうなったら、ちょっと困るなみたいなところもありますけれども、親も子も統合するんだという気持ちがある。初めに届いた文章を娘に見せたときに、平成33年度となっていて、あなたたちの後はないよという話をしたら、すごくがっかりしていて、早く合併したい。何でと言われて、早いほうがいいんだと、こういう子もいるんだなと思って、早くできるなら早く、そういう心づもりの親が多いので進めてもらいたい。逆に平成33年度まで延ばしたときに、何がいいのかは私もわからなくて、早いほうがいい。なので、当初平成30年度と言っていたならば、その年にできるのであればそうしてほしいし、一緒にとなったほうがいいなら、平成31年度に動いてもらったほうがいい。それ以降は、私の中では考えられなかったもので、早い時期にお願いしたいなと思います。
委員	今、平成30年度と言いましたが、通学路の整備とか、そういうのは心配がありますけれども、早めにやっていただきたいと思います。
委員	私も早いほうがいい。平成30年度で、間に合わなければ平成31年で。子供たちの部活動のいろんな選択肢をやはり残していきたい。
委員	時期もそうだけれども、どれだけの調整項目があるのか見えなくて、統合を早くするのはいいんだけど、膨大な調整項目、すり合わせの必要が出たときに、統合を早く

	<p>するがために、その調整を来年度 1 年でやり切るといふのもありますし、どれだけの調整項目があるかが思いつかないので、その不安があります。見切り発車とは言いませんけれども、「統合してみたら、こんなはずじゃなかった」という場面も心配しますし、そうはいつても、「後から統合してもそう変わらない」というのもあるのかもしれないですし、統合の年度もそうですけれども、これからどれだけの項目のすり合わせが必要なのかなといふのが思い浮かべられなくて不安になっている状況です。</p>
委員長	<p>事務局は野田中学校の統合が実際にあったので、どれぐらいの調整事項があるのか、おおよそでも結構ですけれども、報告をお願いします。</p>
事務局	<p>野田中学校は、平成25年度末に野田校区から要望書が出て、平成26年度と平成27年度の2年間で統合準備委員会を開催しています。統合準備委員会では、スクールバスなのか、路線バス通学なのかといふところから、路線バス通学に決まり、運行ダイヤなど主に通学体制の話が多かったです。</p> <p>部活動見学などの交流事業もやっています。後は、学校内のPTA関係、これについては田原中学校に合わせるように決まっていたかなと思います。あと、受け入れる学校側の体制として、準備することもあります。全体で協議するボリュームでは、どこに集まってスクールバスに乗りして行くのかなどの通学体制が大きなウエートになるかと思っています。</p>
委員長	<p>2年間と言われましたが、例えば、1週間に1回会議をやらなければいけないなど、頻度はどれくらいですか。</p>
事務局	<p>統合準備委員会は8回開催しました。PTA同士の会合も6回ぐらいはやっていました。あとPTAが中心になって、独自に地域へ説明会などもやっています。</p>
教育長	<p>事務局ができないと言え、進められません。</p> <p>学校教育課長さん、どうですか。平成30年度という声が出たときに、可能ですか。</p>
事務局	<p>決まれば何とか教員のほうの体制も一生懸命工夫していけば、何とかなるかなと思います。</p>
教育長	<p>平成31年度に2つの統合はどうですか。</p>
事務局	<p>2つ同時だと、正直ちょっと辛い。私の立場だけで申し上げます。</p>
教育長	<p>このような状況です。去年私もゆっくりやってきましたので、せつくなので年度を言ってもらって気持ちをまとめていきたいなと思います。私のほうは伊良湖岬中学校より先という意見が出るのは、余り想定の外ではありませんでした。</p>
委員	<p>以前、話をしていたときに、同時期に行くといふ話がずっと前から出ていましたが、今、同時期にできないといわれた。</p>
委員	<p>それはPTAの皆さんの御意見を尊重するといふ意味で、それは、その場ですぐにできないといわないでしょう。そういう配慮があったと考えられます。</p>
委員	<p>ただ、同時期に統合するといふ話で進んでいた。</p>
委員	<p>だからそれは、同じ中学校1つへ行くといふ条件だから、そうであって、今回の条件だと、福江中学校と赤羽根中学校といふことになるので、全く違ふ。そういう意味</p>

	だと、どっちに進んだらまずいかを老婆心ながら感じることもあります。
事務局	ありがとうございます。
委員	野田中学校が田原中学校へ行くときに、すでに田原中学校の体操服を購入していたと思う。入学準備品などで数万円かかるんですね。もう平成29年度1年しか準備期間がない。泉中学校から来た子の体操服その他が違ってしまうと、やはりある程度期間も置かないと父兄の負担が非常に大きくなるし、新たに買う必要も出てしまうのではないか。野田中学校の場合はどうでしたか。
事務局	野田中学校の場合には、入学時に事前に田原中学校の体操服を希望者は購入しています。
委員	それには何年必要ですか。3年ぐらい必要ですか。
事務局	入学時点で、統合時期や統合先が確定していれば、新しい中学校にあわせた体操服などを、希望する方は購入することも可能です。また例えば、今回ですと泉中学校に入学したけれども、3年生にはどこかに統合する、そういったことが入学時点でわかっているならば、部活動などについての体制も統合先のものを事前に、泉中学校ができる範囲でやるということは考えていくこともできます。
委員	平成30年度にしる、平成33年度にしる、時期が決定してから考えていくということですね。
委員	やはり、交通の便でも多分不安に思っている方も多いので、検討してしっかり決めていただいて、我々や赤羽根地区の住民にも方向性についての説明をしてほしい。なるべく子どもたちの意見を尊重して、統合してうまくやっていけるような体制をつくってほしいと思っています。
委員長	今まで伊良湖岬中学校と同じ時期ということで前回まで進んできて、こういう方針が示されました。皆さんの御意見としては、統合時期が平成30年度、平成31年度などいかがですか。
委員	やはり、どちらかの年度で統合しないといけないなら、なるべくうまくやっていけるように、子どもたちもお互いに慣れていければいいと思います。
委員	自分自身は、統合時期としては、早いほうがいいとの考えです。 伊良湖岬中学校の統合時期は、平成31年度ということで完全に決まっているのですか。それとも、またぶれて年度がおくれることはないのですか。
事務局	7月26日に伊良湖岬中学校統合検討委員会を行いまして、皆さんに聞いたところ、福江中学校、平成31年度で全会一致でした。
委員	自分の意見としては、やはり平成30年度か、先ほど言ったように、平成31年度の統合がいい。赤羽根中学校への編入が決定して、伊良湖岬中学校と同じ時期だと難しいという話なら、平成30年度か、平成32年度とか、その辺はやむを得ないので、少しでも早く転入の時期は考えてもらいたい。 先ほど言ったように、体操服とか、そういうのはまだ考えてないので、伊良湖岬小学校関係の方と話していると、体操服などでも、いろいろと意見があったようですが、統合が決まったなら決まった方向で皆さんが協力して一丸となることができるよ

	うに、みんなで協力して頑張っていけるような時期がいいと思いますので、編入の時期を早目に決めて、体操服など少しでも早く準備ができるように速やかにやっていたいというのが自分の意見です。
委員長	ありがとうございます。
委員	私も早目をお願いします。泉中学校の校舎もぼろぼろです。どの保護者も統合については、早くと言うので、平成33年度では反乱が起こります。
委員	私も先ほど言ったように、いろいろな問題が出てくると思うが、早いほうがいい。例えば、自転車で通学するとき、歩道の整備などを待っていたら何十年先になるかもわからない。だから、歩道が整備されるまでの間の対応は教育委員会で考えていただいて、きちんと対応してもらいたいと思います。
委員長	現役の自治会長さんや前自治会長さん、地域も非常に重要視されているということで、代表ですので、また、保護者の方は違った意見が出るかと思いますが、自分の思うところの意見を述べていただきたいと思います。お願いします。
委員	先ほど P T A の皆さんも言われたとおり、平成33年度というのは、ちょっと遅いと私なりに思う。平成31年度の統合は伊良湖岬中学校。私たちが、今案を言ったのは平成30年度。もしそうできたということ。問題点などはあると思うのですが、それは後々市役所で対応していただきたい。 歩道整備などは、何とかあります。
事務局	すぐにできる、できないとは回答しにくいです。
委員	すぐにできるわけではない。建設事務所を通して調整ということもあります。私の意見としては、早いほうがいいのではないかと願いたいと思います。
委員長	ありがとうございました。
委員	全体の意見を聞いておりますと、できるだけ早いほうがいいという声が多い。これは前回、泉中学校は平成30年度との声があって、今回、平成33年度となっています。平成33年度ではちょっと時期が遅いではないかという気持ちがひしひしと伝わってきます。でも、余り先走ってもいけないこともあろうと思います。平成33年度を一番先の年度ということで、もう少し前倒しができれば、ある程度は皆さんの意見、気持ちに添えるのではないかと思います。 私としては、こういった大事なことを、すぐに行うのはどうかとも考えております。また、学校の先生の振り分けもあるし、あるいは体操服のことも出ました。私は戦後すぐの生まれです。お兄ちゃんの着た古着をもらって学校へ行ったという時代の者です。体操服のことを言うわけではありませんが、創意工夫がされてもいいと思います。ただ、ある程度の時期を見て統合していければと思います。 伊良湖岬中学校は平成31年度に統合です。そちらの様子を見て、いろいろな情報が入ってくるので、平成33年度統合というのは一番先の話として、そこが早められれば早めてもらってもいいのではないかと考えております。ただ、この平成33年度より先にするのはちょっとどうかと思います。
委員長	ありがとうございます。

委員	やはり今までの議論の積み重ねの状況と、当事者の P T A の方々の御意見を尊重して、平成30年度でいいではないかと思ひます。
委員	<p>時期としては、平成33年度というところす。</p> <p>平成30年度、平成31年度の統合につきましても、前校区長さんのお話がありましたけれども、安全な通学路が確保できないうちに統合しても構わないのかなあと思ひます。送迎バスが使えるということがありますけれども、中には親もぐあいが悪くて送っていけない、自転車で通うことになる場合も出ると思ひますので、道路整備のほうも力を入れて、並行して行えるようにしてほしい。</p>
委員	保護者の意見を聞いておりますと、早い時期という意見が多数聞かれますので、平成30年度、平成31年度に向けて、その準備期間の中で手落ちのないようにしっかりすり合わせをしてやっていただきたい。なるべく本当にいろいろなところをすり合わせてやっていただければと思ひます。よろしくお願ひします。
委員	<p>時期としては、父兄の意見を尊重してあげてください。</p> <p>野田の場合は田原中学校へ行くという前提で準備をしていったので、泉地域でも早く決定して、それに向かって進まないとするずると延びてしまひますし、また、市では、恐らくスタートラインで完璧なものにしたいと思ひますけれども、動き出してから臨機応変に、悪いところをどんどん改善する方向のほうの方がやりやすいのではないかなと思ひます。</p>
委員	学校の統合は、そもそも子どもたちのために、部活動の選択肢がないとか、大きな人数の学校で学校生活を送ったほうがいいということで統合すると思ひます。いいことに向かひていくなら、あえておくらさなくても、早くやったほうが自分もいいと思ひます。具体的に年度を言うなら、自分も平成30年度がベストかなと思ひます。それが自分の意見です。
委員	<p>今までの保護者の皆さんの意見を聞いていますと、私は、委員として2年目ですから、2年目に入ったときに、赤羽根だろうと感じていました。恐らく皆さんもそう思っていたと思ひます。ここにきて、早く統合しないと、はずれくじを引いてしまっているような雰囲気皆さん話しておられますけれども、先ほど言ひましたように、平成33年度になったのは、それまでの期間に道路などをどうかしてくれるのかなということ、ちょっと上目遣ひの話をしてしまひました。</p> <p>少し話は飛びますけれども、去年、自治会の役員として下水処理関係のことを伊川津地域の方などとやっていた。市役所へ行きますと、下水道課の人の言うことと、一応堆肥として出すものですから、農政課の言うことが違ひます。これはどうしたものかと。我々としては、そういうことは、全然予想してなかった。恐らくここで教育委員会の方々に言ひても、先ほど事務局から最初に言ひましたように、土木の方とは時期もまだ早いものですから話ができている。堆肥としての汚泥をどうするかということですから、私になって3年目です。それが3年たっても、まだそんなことを言ひている。</p> <p>道路についてのある程度の見通しはどうですか。とにかく、あの八王子から赤羽根に行く道は暗い。危ない。前校区長さんと言ひましたように、冬場になると日も早く</p>

	<p>暮れますし、スクールバスが100%拾ってくれれば、全部丸投げして、「よろしく願いします」ですけれども、一応自治会長、総代さんも、自分たちの立場からいくと、そういう状態の中で、「早いほうがいい」などと言って、それで、「平成30年度」というのは、私は自分の立場からすれば、「これでいい」などとは言えない。</p> <p>まず、あの道をどこまでやれるか、その不安に対して、何かをある程度示してもらわないと、大きいところへ行って、部活動の種類もふえて、当初に言っていたように、競い合う人数ができて学力も向上するかもしれませんが、こちら側に座っている我々としては、まずはその辺を示してもらいたいというところです。</p>
委員長	ありがとうございます。
委員	<p>方針案の統合時期は平成33年度。急に平成33年度になったという感覚ではあるのですが、先ほどからいろいろ聞いていくと、統合時期としては平成30年度。平成31年度の統合はないので、あとは平成32年度。方針案の平成33年度では遅いという意見もたくさんあるので、平成30年度か平成32年度しかない。平成30年度にした場合、先ほど、1年半でできますと言いますが、まだこれで100%決定という意見にはなっていない。だから、統合時期の決定時期によって、準備期間が1年半ではなくて、1年ちょっとしかなくなるかもしれない。それで間に合うのかどうか、その辺も考えていかなければいけないのではないかと思います。</p>
委員	8月に校区説明会をやって、意見をまとめていく予定ですか。
事務局	そうです。
委員	なるべく平成30年度の統合がいいという意見が多いなら、1年半の間に手落ちのない方向性をお願いします。
委員	平成30年度なら、ここまで道路は明るくなるとか、安全性が確保できるということをお話していただければ、保護者の方々も納得して、「早いほうがいい」となるのではないですか。
委員長	校区全体説明会のときに、例えば、道路についてはこれから相手側と検討していきますとの回答を市側がすると、どんどん遅くなって、校区全体の意見がまとまらなくなってしまうので、その辺はシミュレーションしてほしい。
事務局	道路の件ですか。
委員長	自治会長さんらは、道路の安全が最優先だと言っている。
委員	全部歩道をつけるとか、そんなことをそれまでにやれとは言えませんが、最低ここまでは安全性が確保できるなどと状況を伝えてほしい。
事務局	校区の皆さんからも土木の関係部署に要望してもえたらと思います。
委員長	1年半の間に道路がこれぐらいならできる、それから、照明は何とかこれぐらいならできるということを示してもらえたらと思います。
事務局	<p>今から来月や9月までの間に、道路整備の見直しをお伝えすることは、実際の話としてはできないですね。</p> <p>そのことも含めて、今度は校区としても、土木関係の部署に、通学路になっていくので歩道整備などを要望してもらったらどうかと思います。</p>

委員長	それは、市の中で調整できないのですか。
事務局	調整はしていきますけれども、8月の説明会で、ここまで道路ができますよということまで言えるかどうかということを、今、この場で約束はできないですね。 県道整備について、校区からの要望は出していますか。
委員長	県道側について校区としての要望は、まだ今からです。
委員	自分は年をとって、60を過ぎて自治会をやらせてもらっていますが、みんなが全員、福江中学校か赤羽根、全体として一つだよというよりも、保留もありかなと思って、自分で勝手に思っていたのですが、実際、保護者の方に話を聞いてみると、早くしたほうがいいと思う。部活動も、とにかく統合させてもらいたいという意見が多くて、やはり年の差をすごく感じて、そういう考えの保護者の方が多いのだったら、それで進めてもらいたい。そのかわり、みんなが言うように、道路の問題、交通安全、安全第一、そこだけははっきり申します。
委員	皆さんの意見を尊重して、子どもたちの未来のために、これから早急にまとまるように検討していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
委員長	ありがとうございました。皆さんからの御意見、早くという意見、それから、通学路の安全が第一だという意見はそのとおりだと思います。 この検討委員会の意見を持って、来月、校区全体の説明会をやっていきたいと思えます。そこでもたくさんの方の意見を聞いて、校区全体としてどういった意見があるのかを集約したいと思えます。それを受けて、次回の第6回検討委員会で決めていきたいと思えます。時間も長くなりましたので、ほかにまだ聞いておきたいことなどありましたらお願いします。
委員	統合先は、赤羽根中学校で決まりですか。
事務局	検討委員会の中では赤羽根中学校という御意見だと思います。 8月に校区全体説明会をやって、再編検討委員会の中では、赤羽根中学校という意見が多いという話をさせてもらって、その意見を皆さんにも聞いてもらって、もう一回、9月に再編検討委員会をやって、校区の説明会でも、赤羽根というところはオーケーだな、異論はないということでしたら、検討委員会の皆さんの中で決めていただく。それをまた教育委員会にという運びで考えています。
委員	校区全体の中で話し合っ、福江中学校がいいという方もいると思う。校区説明会で地域の意見を聞いて、どういうふうに決めるのですか。赤羽根中学校、福江中学校を、どうてんびんにかけるのですか。
事務局	校区の説明会をやって、赤羽根中学校、福江中学校などという声が出たときにどうやって決めていくかということをご悩まれるということですよ。
委員	余り言いたくはなかったですけども、市関係者から、「市では福江中学校と併せさせたがっている」と聞いた。
事務局	それはありません。
事務局	だから、案として赤羽根中学校と出しています。
委員	これだけ意見がずっと出ているわけだから、ほぼ決定と考えてもらえばいい。

教育長	<p>確定ではないけれども、そういうことです。</p> <p>せっかくですから皆さん言い残しがないようにしてください。</p>
事務局	<p>伊藤前江比間自治会長さんから言っていただきました道路の交通安全対策、通学路についても、県道ですので、東三河建設事務所が所管になってまいります。我々としても、また、8月下旬に泉地域の説明会を行った場合にも同様な御質問、御意見もあろうかと思っておりますので、その先も含めて、鋭意努力をしていきたいということくらいしか、現段階のお答えとしては、その程度にとどまってしまう。</p> <p>課長が述べましたように、8月、9月の説明会まで、これからの短期間にどこまで愛知県の土木関係の部署と詰め切れるのかということもございます。先ほど来、お話を伺っていると、時期としては、「早めてほしい」という意見が大半ですから、その間、どういう形で本当に詰めていくのかということで、まずは御容赦をいただきたいなと思っております。要望活動を行っていくことは変わりございませんので、よろしく願いしたいなと思っております。</p> <p>道路照明そのものも、本来、道路管理者であろうなと思っておりますので、その辺も含めて、どういう形でお願いしていくのか、これは、再編を進める立場として、しっかりと要望していかなければいけないと考えておりますので、御理解をいただきたいと思っております。</p>
委員	<p>自治会からすると、とにかく、学校が移るのですから、学校が移るということは、我々は先が短いのですけれども、これからこの地区を背負ってくれる子どもたちのことですから、早いにこしたことはないかもしれませんが、少なくともある程度の指針を出してほしい。</p>
事務局	<p>また皆さんに御協力をいただかなければならないことも出てこようかと思っておりますので、その節にはよろしく願いしたいと思っております。</p>
委員長	<p>ほかにありますか。</p>
委員	<p>福江中学校について、福江高校とのことが新聞に載っていた。それは、どういうことですか。</p>
事務局	<p>福江中学校と福江高校の連携型中高一貫校というものです。</p> <p>本当の中高一貫校というと、6年間、その学校へずっと行くということなのですが、そうではなくて、中学校と高校がいろいろな部分で連携をしていく。例えば、先生たちの交流や、子どもたちが総合的な学習で地域へ出かけて行って学んだり活動したりするような部分で一緒に行ったり、行事の部分で何か合同でやる部分があったり、一緒に連携する中で、福江地区で6年間を見通して、ともに学んで育っていくことができるような感じのことをこれからも進めていくということです。ことしから、どんな形で何を連携していこうかということをお話し合う組織ができたばかりですので、実際には、これから具体的なことが決まっていくわけです。</p> <p>具体的な例を言いますと、例えば、高校入試のときに、連携型中高一貫校型の入試を希望すれば、通常の入試の学科試験ではなくて、面接のようなことが中心になるなど、そういった形で試験を受けることができる。もちろん、違う高校へ行きたい子は</p>

	違う高校を受ければ普通に行くことができる。ちょっと緩やかな一貫校、連携ということ。そういうものが、数年の間に形が決まっていくということでございます。
教育長	まだ話が始まったばかりなので、形ができていません。
委員	ただ、泉中学校が赤羽根中学校に行つて、それで、伊良湖岬中学校が福江中学校に行くこととしたとしても、高校入試のことを考えると、有利、不利と言つては言いにくいけれども、赤羽根中学校へ行つて、そういういい立場が福江中学校のほうにできたという話になったら、「赤羽根中学校よりも福江中学校のほうがよかった」という話が出るかもしれないので、その辺の意見も取り入れたほうがいいと思います。
委員長	ほかにごありますか。
委員	小中学校の校長先生もいらっしゃいますので、保育園も含めて、8月の校区説明会で泉校区全体の方向性を完全に決めるようでしたら、各生徒に、「こういうように決めたいので、御出席をお願いします」という手紙を出して、もちろん自治会にもお願いして、回覧板で回すなり、全体で少しでも多く出してもらうようお願いしたらいいと思うのですけれども、どうですか。
事務局	後ほどお願いをしようと思っておりましたが、この再編に伴う泉校区の皆さんへの説明会を開催したいと思っております。8月23日火曜日午後7時から、泉市民館で開催予定です。 自治会さんなどをお願いして、全世帯に案内を配布させていただきたいと思っております。また、泉保育園、小学校、中学校の保護者の皆さん方には、保育園、学校を通じて全員に案内を出して、参加を呼びかけようと思っております。 再編検討委員会の皆さんにも、もちろん出ていただいて、皆さんの意見を聞いていただきたいと思っておりますので、あわせてよろしくお願ひいたします。
委員	校区説明会の案内文にある泉中学校の統合時期は、この案のとおり平成33年度のままでですか。検討委員会で意見が出た平成30年度統合というのは載せないのですか。
事務局	方針案の時期の掲載については検討します。
事務局	こちらは、案としてつくったものです。 泉中学校については、変わる可能性があるということをお願いします。
事務局	案内文につきましては、泉中学校再編委員会の委員長の山内委員長さんと教育長名の連名で出させていただきます。よろしくお願ひいたします。
委員	平成30年度に赤羽根中学校に受け入れていただくことは、赤羽根中学校区としてはオーケーですか。
事務局	大丈夫だと思います。
委員	大丈夫だと思いますということですか。統合年度は問題にならないわけですか。
事務局	年度について、特に何年に行くという話は今まではしていません。
委員	それもまだ検討課題ですか。
事務局	統合時期が決まったら、相手方に話をしていく予定です。
委員	今の時点では、100%オーケーではないということですね。
事務局	この年度だったら100%オーケーというような聞き方はしておりません。

委員長	今の説明に補足ですけれども、コミュニティ協議会が、赤羽根中学校区に三つあります。高松、赤羽根、若戸です。その校区の方々からは、「いつでもオーケーですよ。ぜひ来てください」という意見を聞いておりますので、その辺を参考にさせていただきたいと思います。
委員	学校見学会では校長先生も、「大歓迎です。いつでもどうぞ」と言っておりました。
委員長	今、事務局から、校区全体の説明会について説明がありました。この中で、地域の皆さんがどう考えるか、どんな意見が出てくるか聞いて、次回 9 月に泉中学校再編検討委員会をもう一回やって、検討委員会としての考え方をまとめていきたいと思うので、よろしくお願いします。 泉校区全体説明会の日程は 8 月 23 日に決めさせていただきました。
委員	校区説明会の案内は回覧に入れますか。
事務局	8 月 1 日に回覧予定です。
委員長	それで、案内文書に先ほどの平成 33 年度の方針案を入れますか。
委員	教育委員会の方針案だからどうか。
事務局	校区説明会の案内文書の中でも、教育委員会から方針案が出されましたとなっています。伊良湖岬中学校のほうにも発信元が違う同じ内容の文面が出ています。ですから、これはこれで教育委員会の方針案という形で説明させていただいて、あとは説明会の中で、本日の検討委員会の皆さんの御意見としては、早目にと御意見が多いという形で説明はしていきたいと思っています。 これは 8 月 1 日に回覧予定で、伊良湖岬中学校区にも、同様の内容でお渡しする形です。
委員	この案は教育委員会の案で、今、この場で皆さんの意見を言ってもらえたので、説明会の中で、検討委員会としての意見として説明していけばいいかなと思います。 教育委員会の方針案の平成 33 年度をひっくり返してしまうと、教育委員会の名前が消えてしまう。
事務局	教育委員会案と、検討委員会案の二本立てという形もあるのかもしれません。
委員長	その辺はどうですか。
委員	泉中学校の統合時期についての方針案の平成 33 年度を削ればいい。
教育長	実は、伊良湖岬中学校の検討委員会のほうは、泉中学校の再編時期が平成 30 年度となるとびっくりすることもあるかと思います。 先ほど言った赤羽根中学校もまだ確定ではないけれども、まとまりつつある案ということで、教育委員会としては出したほうがいい。
事務局	泉校区の説明会の中では、泉中学校再編検討委員会の意見としては平成 30 年度が多かったというような説明でどうでしょうか。
委員	数日前の伊良湖岬中学校検討委員会では、泉中学校の統合時期は平成 33 年度で説明しているのですね。
事務局	教育委員会の方針案として説明しております。 校区説明会の案内に、教育委員会の方針案として載せさせていただいたものです。

委員	<p>それでは、案内文は案のとおりやっておいて、泉中学校再編検討委員会の中では、平成30年度という意見が多かったというようにすればいいのではないか。</p>
事務局	<p>7月26日の伊良湖岬中学校統合検討委員会の最後には、教育長から、「泉中学校の統合時期については、平成33年度という方針案でお示いたしますが、7月28日の泉中学校再編検討委員会の意見によっては、場合によって年次が早まること、変わることもございます」とお伝えしてございます。</p> <p>皆さんが、もう少し早目ということであれば、そのように思っております。あとはどうでしょうか。</p>
委員	<p>びっくりしているのですがけれども、再度説明するのが面倒くさいけれども、そちらが大変だけれども、このままいってとも思います。</p>
事務局	<p>皆さんがびっくりするようでしたら変更させていただきます。</p>
委員長	<p>みんなびっくりしたと思うよ。</p>
教育長	<p>びっくりさせて大変申しわけありませんでした。びっくりさせるつもりは全くなく、私自身、泉中学校を慌てて畳まなくてもいいのではないかというふうだったので、強い声を聞きましたので、平成33年度よりは少なくとも早く、どういう形にするか、また帰って検討させていただきます。</p> <p>きょうは大変皆さんお疲れの中、活発な議論をしていただいて、私たちも十分生の声を聞くことができたと思います。若干見通しが甘かったなと反省をしております。でも、私も住民として、泉中学校は、古い校舎だけれども、1学年2クラスで40人いたら、もっと頑張らせないなとも思いましたが、中学校の場合は、部活動もあります。先ほど言った、制服、体操服など、いろいろなこともありますので、これまた考えながら進めていく部分があるのかなというように、早くできるかどうかも含めて、もう少し、こちらも冷静に検討させていただいて、また、第6回泉中学校再編検討委員会で、そこでは皆さんと一緒に一つの考えでまとめられたなと思います。</p> <p>また、先ほどありましたように、8月23日の泉校区説明会では、説明をしながら意見を交換する場もありまして、9月の第6回泉中学校再編検討委員会の案を、教育委員会に提案をしまして、そこでおおむね泉中学校再編検討委員会の案が了承されるのではないかなという道筋です。そして、9月の終わりに発表というスケジュールですので、10月以降には統合準備のための会に移れるかなという見通しであります。</p> <p>そういう中で、本日いただいた意見を、また持ち帰りまして検討しながら、私たちも、議会、市長、いろいろなところとも相談しながら、多くの声を聞く中で、最終的にどうなのかということを進めていきますので、まだ予定どおりいくかどうか言い切れませんが、今、福江中学校ではなくて、赤羽根中学校という形、それから、年度についても平成30年度という意見が大変多くございましたので、そういう方向で半ば調整できるかなと思っております。</p> <p>しかし、1年半で泉中学校が統合となる場合、今の泉中学校1年生が3年生になったときに動くということをもう少しまた考えていただきまして、また、年度については、私たちは平成31年度も厳しいかなと思っていたのですが、その辺のことも深く、</p>

	<p>もう少し検討を加えさせていただいて、できるだけ皆さんの早くという声が反映される形に持っていきたいと思います。</p> <p>まだまだ意見を言う機会がいっぱいありますので、先ほどの福江中学校へ行きたいという気持ちをどうするのだということについても、また、どういう形で皆さんに理解してもらっても考えていきたいと思います。何とか泉校区がまとまって、何年後に赤羽根中学校に行くのだなというのが、できるだけ円満な形で解決できるように図っていききたいと思います。</p> <p>検討委員会の委員の皆さんは、それを一緒になって推進していく立場ですので、もうしばらく教育委員会とともに頑張ってくださいまして、何とか早目に皆さんと決定していけるといいかなと思いますので、もうしばらくお力をおかしいたいて、何とか子どもたちのために明るい未来がつかれるように、よろしくお願いします。</p> <p>きょうは大変お疲れの中、ありがとうございました。</p>
<p>委員長</p>	<p>本当にありがとうございました。</p> <p>教育委員会から提案された方針案につきまして、いろいろな御意見をいただきました。委員さんそれぞれの立場で次回の校区全体の説明会までに、皆さんで保護者の方や地域の方に情報提供をしていただいて、8月23日の校区説明会を迎えたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>以上をもちまして、第5回泉中学校再編検討委員会を終了したいと思います。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>